鳥羽市役所
ISE-SHIMA NATIONAL PARK TOBA

# Press Release

令和７年３月２５日（火）
【照会先】鳥羽市観光商工課　中村
三重県鳥羽市鳥羽３－１－１
℡0599-25-1157　fax0599-25-1159

報道機関　各位

## 「鳥羽うみライブラリー」鳥羽市歴史文化ガイドセンター（水軍館）<br>芝浦工業大学と連携したワークショップの開催について

　このたび、鳥羽うみ文化と公共交通を活かした拠点と賑わいづくり事業における「鳥羽うみライブラリー」の認知度向上及び利用促進のため、下記のとおり芝浦工業大学と連携したワークショップを開催いたします。

日　時：令和７年３月３０日（日）１３時から１６時まで
場　所：鳥羽市歴史文化ガイドセンター（鳥羽市鳥羽１丁目１０−４８）
内　容：芝浦工業大学による新しい本棚の製作（鳥羽城をイメージした石垣デザイン）
　　　　参加者と一緒に本棚の色塗りを行います。
対象者：未就学児～小学生（地元住民・観光客問わず幅広い参加者を想定）
主　催：芝浦工業大学空き家改修プロジェクト鳥羽設計室、鳥羽市

写真は令和６年１２月に実施したワークショップの様子

※芝浦工業大学「空き家改修プロジェクト」とは？
　全国的に増加している空き家問題を背景に、空き家の改修やイベントの開催を通じて地域の活性化を目指す学生団体。芝浦工業大学（東京都江東区）の建築系を専攻する学生から構成され、全国各地にて活動しています。（現在、三重県鳥羽市を含む７県 10 地域に貢献）
（URL）https://akiyapj.com/home/

「鳥羽うみライブラリー」事業の背景と事業の目的

鳥羽市は、海との独自の関係性から長い時間をかけて海女文化、漁業文化、生活文化、自然風景、歴史文化、食文化が築き上げられ、地域の魅力や特徴や鳥羽らしさが形成されています。その総称を第二次鳥羽市観光基本計画（計画期間：H28～R７）では「鳥羽うみ文化」として名付けています。行政や民間、地域が「鳥羽うみ文化」を理解し、守り、活かしていく事業を展開しています。

また、本市の中心市街地（鳥羽駅周辺）は、徒歩圏内に鉄道や有人離島と本土をつなぐ市営定期船、伊勢市と鳥羽市を結ぶバス、そして大型客船が寄港するなど様々な交通の結節点となっています。また、海について学ぶことができる観光施設も豊富であることから、既存の施設や地域資源を有機的に連動することが、地域の魅力づくりにつながると考えます。

そこで、中心市街地（鳥羽駅から中之郷駅周辺のエリア）において、市民や来訪者が鳥羽の歴史や文化、海の魅力を感じる居場所や周遊促進のきっかけになることを目的に令和６年３月に鳥羽や海にまつわる本を読むことができる拠点として既存施設内５か所にテーマ性を持った書籍を集め「鳥羽うみライブラリー」を設置しました。（別紙リーフレット参照）

なお、市内各施設のご協力により、現在は 10 か所に拡大しています。（準備中の施設含む）

近鉄中之郷駅の本棚

子どもたちが本を読んで談笑する様子

建築を学ぶ「芝浦工業大学」との連携の経緯

鳥羽 3 丁目～4 丁目界隈の昭和の街並みが残る「鳥羽なかまち」で、2020 年から空き家のリノベーションなどで地域活性化に取り組む芝浦工業大学の地域活性化サークル鳥羽設計室と連携し、近鉄中之郷駅に設置する本棚や椅子を製作しました。（写真：本棚製作の様子）

令和５年３月から協議を開始し、地域の課題や鳥羽うみライブラリーの機能、設置する椅子や本棚のデザインの検討を行った上で、近鉄中之郷駅に設置する本棚と椅子を製作するほか、子ども向けのワークショップを実施し、地域振興に取り組みました。（写真：完成した椅子に腰かける大学生）

鳥羽うみライブラリーを地域住民にも活用いただくことや地域の魅力を知ってもらうため、令和５年９月には鳥羽小学校６年生に対して、鳥羽なかまち会での活動や芝浦工業大学による空き家改修による地域活性化について授業を行いました。（写真：鳥羽小学校での授業の様子）